

発売中
100円

憲法9条を変えて、
「戦争する自衛隊」にして
いいのですか (憲法会議・発行)

日韓関係の悪化で観光業損失

9月議会
一般質問

団体客キャンセル、パートの仕事がない

日隈市議は12日、日韓関係の悪化による観光業の損失について質問。ホテルのパートの仕事が減って、介護施設に入っている親の入居費の支払いに困っているという声を紹介しました。



▶旅館・ホテルの経営、雇用への影響を質問し、対策を求める日隈市議（12日）

など影響が出ている」「韓国からの客足が途絶え、パートの仕事がなくなったとの話しを聞いています」と答えました。

日隈市議は「旅館、ホテルの中には、5割が韓国からのお客さんの中には8割というところもある。観光業の損失が長期化した場合、何らかの対策を検討しているか」と質問。商工観光部長は「8月20日の中小企業支援連絡会議において、市内金融機関と情報交換。今後、県とも連携を図り、融資制度についても協議したい」「一国集中の現状を改善し、台湾、香港、

商工観光部長は「大きな影響はないという意見がある一方、韓国からの団体客を多く受け入れていた施設ではキャンセルがあいつぎ、今後の入り込みが見込めない

上海からの誘客、新たにアメリカやタイからの誘客に向けた取り組みを始める」と答えました。日隈市議は「日韓関係悪化の原因は、徴用工問題をめぐる政治的対立を、貿易規制の拡大にまで広げた安倍政権の対応にある」と指摘。「日韓関係の悪化による観光業の損失への対策を国に求めるべきではないか」と質問。市長は「国求めるよりも、目先の誘客に努めていく。資金に困っている状況があれば、金融協会と話し対策を強める」と答えました。

日隈市議は「貿易規制の禁止手を使って対抗策を取った国の責任が大きい。市長は、観光業の損失が出ていることを国に伝えていただきたい」と強く要望しました。

駅前広場の工事4億5千万円

9月議会
議案質疑

市民の理解は得られているか

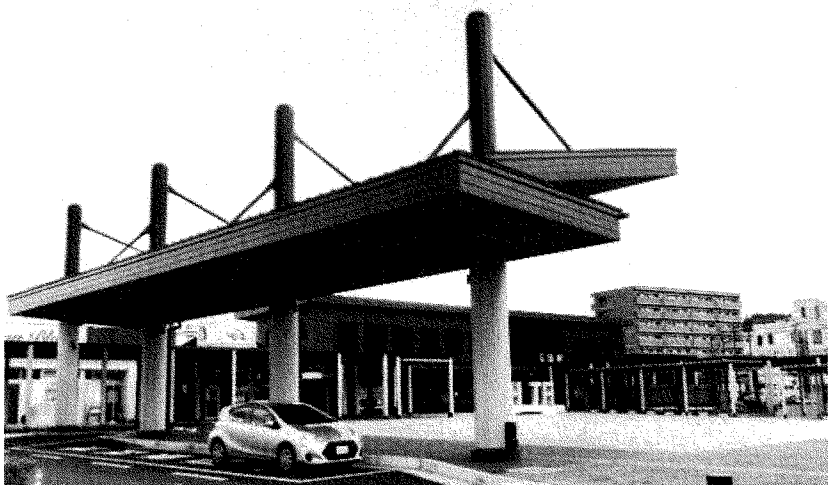
日隈市議は18日、平成30年度決算の中で日田駅前広場の整備について質問。大屋根つき広場の費用対効果など、「市民の理解は、得られていると思うか」とただしました。

土木建築部長は「大屋根は、柱や屋根裏に杉を使い、広場のシンボル。屋根の高さは、送迎の車が入るため3・8m（道路構造の決まり）。雨よけ、日よけ効果もあり、地震、風、積雪に対する安全性も確保している」と説明しました。

日隈市議は「他市の駅前広場の整備と比べて、費用対効果を考えて作ったのか」と質問。土木建築部長「屋根つき広場を整備している大分駅北口は、約1万5千㎡を約16億円で整備。面積あたりの単価は、日田市の方が1割程度安くなっている。宇佐市柳ヶ浦駅

で計画中の駅前広場は、約5千㎡を約8億円で整備する予定で、かなりの事業費」「祇園山鉾集団顔見せにも利用され、整備前の28年度は1万人、完成後の本年は1万6千人が集まった」と答え、利用者から「雨に濡れずに移動できる」「案内板がわかりやすい」など、好評と説明しました。

「市民の一部にお金のムダづかいとの声もある。市民の理解が得られると考えているか」と質問。土木建築部長は「みなさんに利用していただける広場になることを期待している」と答えました。



▶送迎の車が停車している日田駅前広場（24日、日隈が撮影）